

NPO ブルーアースと地盤品質判定士会神奈川支部、及び、有志による

## 地盤災害に対する『よこはま宣言』

私たち、「NPO ブルーアースと地盤品質判定士会神奈川支部、及び、有志」（以下、「私たち」と表示）は、気候変動に伴う地盤災害の防止と被害削減を目指して、以下の活動を行うことを広く宣言します。

### （背景）

昨年（2020年）10月15日～11月12日の間に、対面とオンラインによる“ハイブリッド形式”で、「地球環境変化と地盤防災・減災を横浜から考える」のテーマで、私たちは「NPO ブルーアースのエネルギー＆エコロジー・防災セミナー（第17回）」を共同して主催し、横浜の場で、気候変動と地盤災害について学び、共に考え、意見を交わしました。横浜市の助成金を受け、延べ149名の参加を得ました。

### （目的）

元米国副大統領アル・ゴア氏が提唱する「気候変動を学び、つながり、行動すること！」を、地盤災害を対象として、地盤災害に対する関心が高い横浜で活動を始め、その成果を神奈川県、日本に広げ、さらに、アジア、世界と連携して、地盤災害を防止し被害を削減することを目指します。



<https://special.sankei.com/seiron/article/20191115/0001.html>  
気候変動リスクへの行動を説くゴア元米国副大統領

### （私たちの課題）

- ①気候変動に伴い地盤災害のリスクは高まっており、リスクを下げる具体的な行動が必要です。
- ②このリスクを知り、考え、議論して、行動を起こすことで、リスクを下げることができます。
- ③現在の環境リスクを下げ、地盤災害による被害を低減する強い意思を、私たちは持っています。

### （私たちの具体的行動）

私たちは、1.自助の促進、2.共助の支援、3.公助の補助の形で、具体的な行動を起こします。

1. 自助の促進：私たちは、参加者自身が発表者になる自律型セミナーを、定期的で開催します。  
コロナ禍の中でも、対面とオンラインを組み合わせることで実現します。

#### 2. 共助の支援：

- ①この『よこはま宣言』に賛同する企業及び県内外の団体の活動を、私たちは技術面を中心に支援します。
  - ②私たちは、広く開かれた「気候変動と災害に関するシンポジウム」を運営、開催し、議論の場を提供します。
3. 公助の補助：この『よこはま宣言』の趣旨に沿う横浜市役所、県内市町村、神奈川県庁、国の活動を、市民向けの相談会、説明会へ講師を派遣、市民へ参加を呼びかけ、補助・支援します。  
加えて、市民目線と技術者視点を融合して、定期的な官民の意見交換会を提案して参加します。  
併せて、政策提言を行政に提出します。



これらを、私たちは、短期・中期・長期に分けて、着実に実施することを、『よこはまから宣言します！』

以上